

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲・乙	第436号	氏名	吉野 喜裕
審査委員	主査氏名	野本敏行	
	副査氏名	糸野正弘	
	副査氏名	森下孝広	
[論文題名]			
<p><i>XPC</i> intron11 C/A polymorphism as a risk factor for prostate cancer (Environmental Health and Preventive Medicine, accepted DOI 10.1007/s12199-015-0505-z)</p>			
[要旨]			
<p>本研究では <i>XPC</i> intron11C/A 遺伝子多型は前立腺がんの発がんリスクである可能性が示され、その影響は非喫煙者で強いことが示唆された。このことは発がん物質暴露が多い時には遺伝子多型の影響による差は見られないが、発がん物質の影響が少ない場合に限り遺伝子多型影響が出ることを示唆している可能性があり、この遺伝子多型は前立腺がんのリスクとなるが、その影響は喫煙による発がん物質暴露に比べれば軽微あることが考えられた。本研究は日本人を対象とし、前立腺がんと <i>XPC</i> intron11 多型との関係性を評価する最初の報告であり、社会健康医学分野において有用であり、学位論文に値すると判定した。</p>			